

新潮社広告部  
特別企画  
終活特集

# 人生の総仕上げ

# 「グランドフィナーレ」

## を迎えるために

### 想いをこめた 「遺贈寄付」で “人生最後の社会貢献”

第1部

前者は、2人以上の証人立ち会いのもと、遺言者の意思を確認しつつ、公証人が適切な内容を作成し、公証役場で保存するもの。

後者の自筆証書遺言は、遺言者が

「遺贈寄付」とは、遺言で、財産の全部、または一部を公益法人やNPO法人、学校などに寄付することをいう。また、遺産を受け取った相続人が、故人の手紙や言葉で示された遺志にもとづいて寄付することも「遺贈寄付」である。

自由を考えて書くもので、一昨年7月から、法務局による「自筆証書遺言書保管制度」が始まり、注目が集まっている。保管手数料が一件につき3900円で、保管の撤回や住所等の変更は無料。紛失などのリスクがなく、自宅にしまっただけで遺言書が発見されずに終わるといった悲劇もなくなる。遺言を残すハードルが低くなった気もするが、預ける際に内容まではチェックしてもらえないため、いざ開封して書面に不備があったりすると、せっかくの遺言書が無効になってしまう場合もある。やはり、専門家に目を通してもらうことが必要だという。

さらに、相続を争いごとにしたくないためには、家族の遺留分を考慮することが大切。その上で、生前から、遺贈寄付をしたいという自分の想いを伝えておくとういだろう。遺産を受け取った相続人が寄付する場合、相続税はかからず、所得税の寄付金控除も受けられる。土地建物の現物でも遺贈寄付が可能な団体、場合もある。まず資料請求から始めてみてはいかがだろうか。

協賛社名(掲載順)

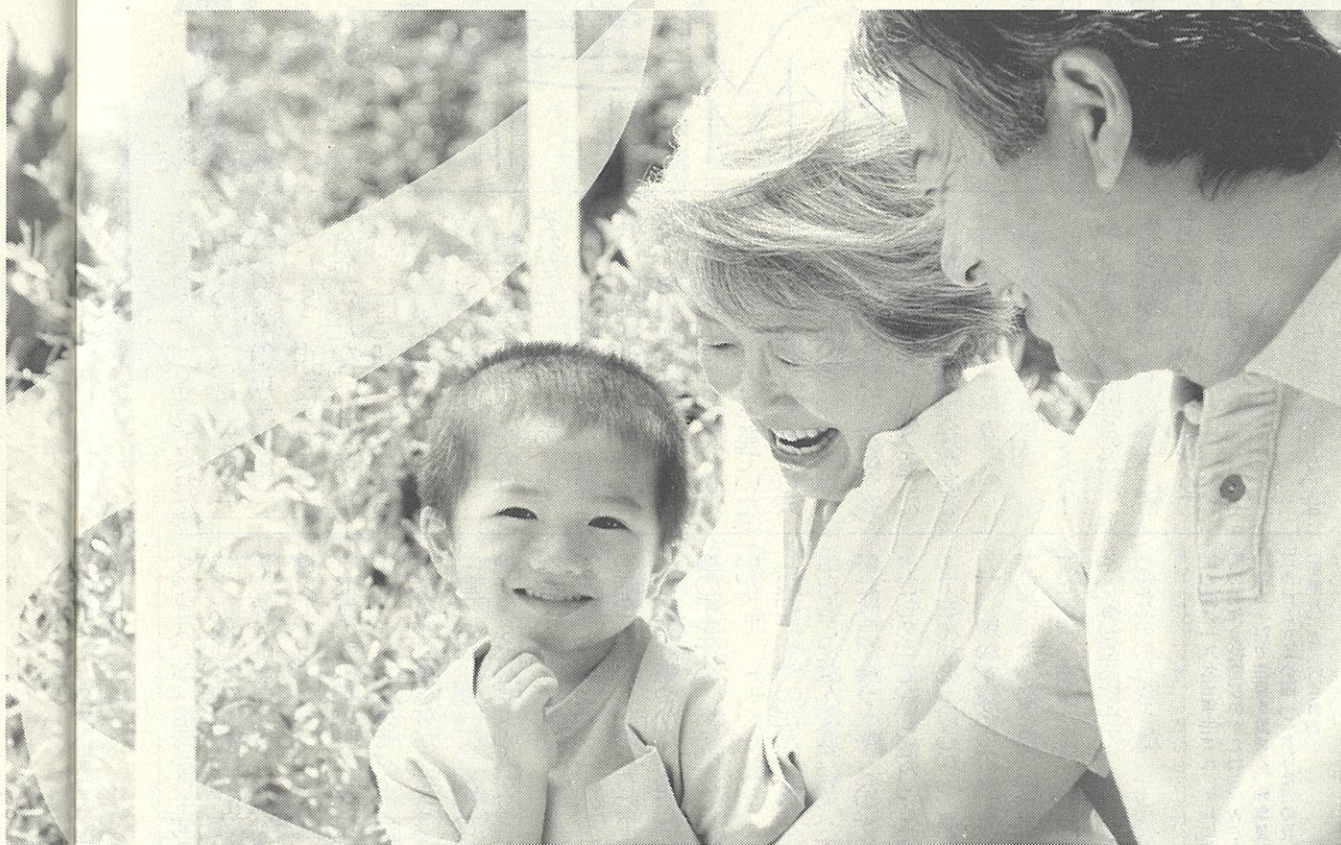
第1部—遺贈寄付

- 日本骨髄バンク
- 国連UNHCR協会
- 国境なき子どもたち
- 日本自然保護協会

第2部—保険 住まい

- プラス少額短期保険
- みどり生命
- And Doホールディングス

ちょうど2年前、国連のグテーレス事務総長は、新型コロナウイルスの大流行について、第2次世界大戦以来「最大の試練」と語った。その収束がまだ見通せないうちに、大戦以来「最大規模の戦争」の勃発である。いのちには限りがあることを実感させられる日々——。人生の総仕上げにあたって、どのような準備が必要か。老後資金を不動産の活用で確保する方法もあれば、最期のセレモニーにかかる費用をまかなう保険もある。死後の財産で社会に貢献する「遺贈寄付」という方法もある。堂々たる「グランドフィナーレ」を迎えるためのヒントをお届けする。



公益財団法人  
日本骨髄バンク

あなたの支援が「命のバトン」をつなぐ



女優として活躍した夏目雅子さんが急性骨髄性白血病で亡くなったのは1985年のこと。骨髄提供ドナーが見つからず27歳で早逝した。適合するドナーがいなかったら、夏目さんは生きられなかったかもしれない。6年後の1991年、日本骨髄バンクが発足。  
設立から30年。今や、ドナー登録者は約54万人、移植実績は2万6000件を超えた(2021年12月末現在)。骨髄バンクは、白血病などで移植が必要な患者と、骨髄・末梢血幹細胞を提供してくれるドナーとの橋渡し役として「命のバトン」をつないできた。

白血球の型が一致するのは、他人同士では数百から数万分の一の確率。多くのバトンをつなぐには、一人でも多くのドナーが必要だ。

ドナーにならなくても  
支援はできる

しかし、ドナー登録には18歳から54歳までの健康な人という制限があり、近年は年間2万6000人以上が「卒業」していく。そのため、ドナーを募る地道で継続的な普及啓発活動が欠かせない。そうした活動や移植に向けてのコーディネート業務を支えるのは寄付金である。年齢や健康の面でドナーになれなくても、遺贈寄付という選択肢がある。あなたの支援が「命のバトン」をつなぐ。



JMDP  
日本骨髄バンク  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-19廣瀬第2ビル 7F  
☎0120-377-465  
(平日9:00~17:30)  
<https://www.jmdp.or.jp/>

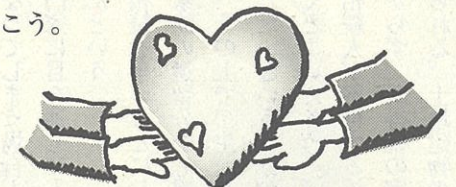
想いを託す団体をどう選ぶか

遺贈寄付をしようという意思はあっても、ふさわしい贈り先が思い浮かばない。そんなとき、どうやって想いを託す団体を選べばよいのか。

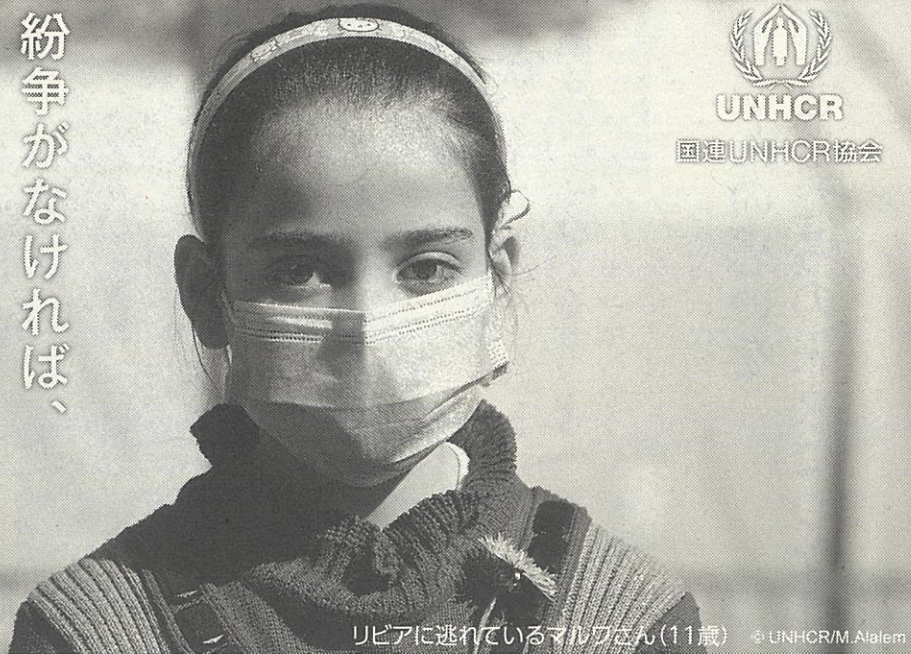
まず、自分自身が望む社会のイメージを、心のうちに描いてみよう。「争いごとがなく、生命を脅かされることがない」「飢餓に苦しまない」「適切な医療が受けられる」「豊かな自然が守られている」「ベトナムが天寿をまっとうできる」――。

寄付を受け入れている団体の支援分野は、難民救援、医療援助、自然保護、動

物愛護、芸術・文化活動など幅広い。自分の想いと重なる団体が絞られてきたら、その団体の資料を集め、生前に少額の「お試し寄付」をしてみるのがおすすめだ。受取のお礼や用途報告がきちんと届くかなど、対応をチェックして、信頼に足る団体かどうか確かめる。あなたの想いを託すにふさわしい団体を見出している。



紛争がなければ、  
どんな11年間を  
過ごしていたんだろう。



リビアに逃れているマルワさん(11歳) © UNHCR/M. Alalem

11歳のマルワさんは、生まれてすぐに両親とともにリビアに逃れてきました。見たことのない故郷を思い、彼女が願うこと。「紛争が終わって、みんなが平和に暮らせますように」。紛争がなければ、一体どんな日々を故郷で送っていたのでしょうか。

シリア危機が始まって丸11年。いまだ周辺国に逃れているシリア難民は570万人。そのうち約半数が、マルワさんのような子どもたちです。小学校に通っている難民の子どもは、68%。中学校以上の中等教育ではわずか3人中1人に減ります。

紛争を逃れ、辿り着いた別の国での避難生活は、子どもたちにとっても過酷な状況です。

子どもたちの道は険しい。それでも、手をさしのべてくれる誰かがいる。学ぶ機会がそこにあり、自分の未来を思い描くことができる世界。そういう世界を、子どもたちに贈りませんか？  
国連の難民支援機関UNHCRへの遺贈寄付について知ってください。



ぜひ、お気軽に資料をご請求ください  
「未来のためのエンディングノート」  
差し上げます

通話料無料 0120-540-732  
または 03-4366-7373 [平日10時~19時]

UNHCR 遺贈

当協会にご寄付いただくご遺産・相続財産には、相続税がかかりません。

UNHCR(ユ-エヌエイチシー-アール) 国連難民高等弁務官事務所

UNHCRは1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞した国連の難民支援機関です。緒方貞子さんが第8代高等弁務官を務めました。国連UNHCR協会は、日本における公式支援窓口です。

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3F

# 死亡保険

## 家族への思いやり

月々 **1,060円**~

1日あたり お手ごろな **36円**~

家族への思いやりが人気の理由

89歳までの  
新規申込が可能

最長99歳までの  
更新が可能

家族に負担をかけず  
に済みます。

70代 男性

まだ申し込める保険  
があって安心しました。

80代 女性

最大300万円の  
選べる保障で安心。

70代 女性



《帳票番号》PS202202A-20-01

今すぐ資料請求!

フリーダイヤル

**0120-944-680**

資料請求  
コード

**SKC01**

【受付時間 平日 10:00-19:00】オペレーターに資料請求コードをおしらせください。

株式会社トップライン  
埼玉県さいたま市大宮区宮町2丁目23  
イーストゲート大宮ビルA館6F

【引受少額短期保険会社】 プラス少額短期保険株式会社  
東京都新宿区新宿 5-17-18  
H&Iビルディング

# 家族に迷惑をかけずに

# 終活の準備をしよう

# 自分らしい旅立ちを 実現するための 安心と信頼の保険

第2部

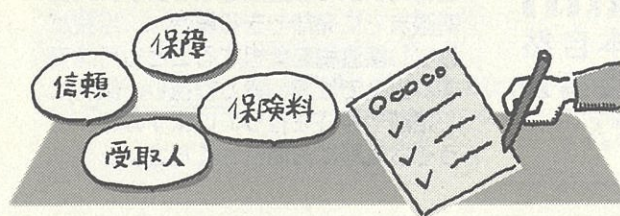
終活が盛んになった理由の一つは、人生の最期のセレモニーをどうするのか、具体的に決めておきたい人が増えたことにある。そこで、セレモニーの予約サービスが登場した。家族からも好評だという。故人の願いを叶えて、お別れできる満足感が高い。

思い通りの旅立ちの実現には、経済的な準備も重要だ。葬儀にかかる費用は、たとえば2019年の日本消費者協会の調査によれば約195万円となっている。調査によって金額に違いはあるものの、セレモニーホールに加えて、料理店や僧侶などへの支払いが生じる。臨終から葬儀、初七日を経て一段落するまでは、わずか1週間弱だ。残された家族は、悲しみに暮れながらも慌ただしく過ごすことになるだろう。その中で、各種費用の支払いに追われる。さらに遺品整理にもコストがかかる。残された家族の負担は、意外に大きいのだ。

こうした費用の準備に便利なのが、保険商品だ。たとえば、セレモニーなどを任せたい親族等が決まってい

## 終活に向けた 保険選びのチェックポイント

- 保障の範囲など商品の内容を理解できるか
- 保険金額は準備したい資金額に合うか
- 年齢、健康状態等、契約できる条件を自身が満たしているか
- 保険料はムリなく負担できるか
- 保険金受取人をスムーズに決めることができるか
- 信頼できる保険会社が提供しているか
- 扱者(保険代理店)と終活について相談できるか



る場合、保険金受取人に指定しておけば、負担を助けることができる。葬儀会社などに直接保険金が支払われるよう指図できる保険商品もあり、精算に便利だ。もちろん、月々ムリなく保険料を支払うことで、着実に資金を準備できる利点は大きい。

保険商品の選択は、目的に合った設計やサービスとなっているかが決め手になる。年齢や健康状態などの条件を確認し、いまの自分が契約できるのか。保険料の支払い方がライフプランに合っているか。そして、自分の思い描く通りに保険金が支払われ、使われるようにできるのか。しっかりと吟味して契約したいものだ。

また、資金を残すには、マイホームなどの不動産を活用する方法もある。併せて検討してみたいかがか。